

夏の天候の見通し

6～8月

予報のポイント

- 全国的に暖かい空気に覆われやすいため、気温は北・東・西日本で高く、沖縄・奄美で平年並か高いでしょう。
- 全国的に、梅雨の時期（北・東・西日本では6月から7月、沖縄・奄美では5月から6月）と夏の降水量は、ほぼ平年並の見込みです。

夏（6～8月）の平均気温・降水量

		平均気温 夏（6～8月）	降水量 夏（6～8月）	降水量 梅雨の時期
北日本	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
西日本	日本海側	低 20 並 30 高 50% 高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み
沖縄・奄美		低 20 並 40 高 40% 平年並か高い見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み	少 30 並 40 多 30% ほぼ平年並の見込み

↑
数値は予想される出現確率です

平均気温 夏（6～8月）

北日本
西日本
東日本
沖縄・奄美

低い確率 50% 40% 30% 20% 10% 以上
高い確率 50% 40% 30% 20% 10% 以上

降水量 夏（6～8月）

北日本(日)
北日本(太)
東日本(日)
東日本(太)
西日本(日)
西日本(太)
沖縄・奄美

少ない確率 50% 40% 30% 20% 10% 以上
多い確率 50% 40% 30% 20% 10% 以上

梅雨期間降水量

北日本(日)
北日本(太)
東日本(日)
東日本(太)
西日本(日)
西日本(太)
沖縄・奄美

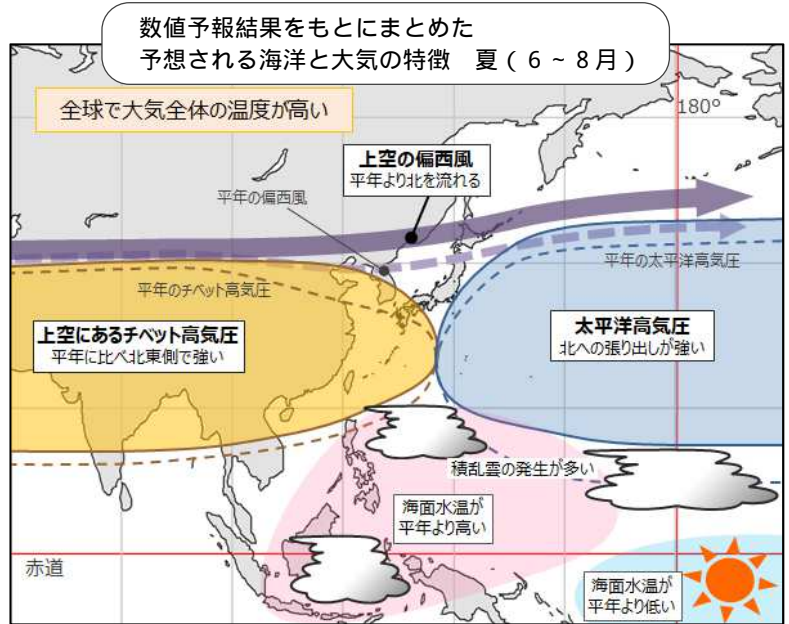
少ない確率 50% 40% 30% 20% 10% 以上
多い確率 50% 40% 30% 20% 10% 以上

梅雨の時期・・・北・東・西日本では6～7月、沖縄・奄美では5～6月

季節予報は、予測の確からしさに応じて、気温や降水量などを「低い(少ない) 平年並、高い(多い)」となる確率で表しています。「平年並」がどの程度の値になるのかについては、末尾の「参考データ(平年並の範囲)」をご覧ください。
 確率をその大きさに応じ言葉で解説しています。詳しくは末尾の「参考データ(確率予報の解説)」をご覧ください。

予想される海洋と大気の特徴

- 地球温暖化の影響等により、全球で大気全体の温度が高いくでしょう。
- 海面水温は、太平洋赤道域の日付変更線付近で平年より低いくでしょう。一方、太平洋熱帯域の西部では高く、積乱雲の発生が多いくでしょう。
- これらの影響のため、上空にあるチベット高気圧は平年に比べて北東側で強く、上空の偏西風は日本付近で平年より北を流れるでしょう。
- 太平洋高気圧は北への張り出しが強いくでしょう。



最近10年間の夏の特徴

年	夏の平均気温 平年差（階級）				夏の天候の特徴
	北日本	東日本	西日本	沖縄・奄美	
2012	+0.3 (0)	+0.2 (0)	+0.2 (0)	-0.1 (0)	平成24年7月九州北部豪雨 西日本と沖縄・奄美で多雨・日照不足
2013	+0.7 (+)	+0.7 (+)	+0.9 (++)	+0.4 (+)	秋田県・岩手県・島根県・山口県で豪雨被害 東日本太平洋側と沖縄・奄美で少雨 国内最高気温記録更新（当時）
2014	+0.8 (+)	+0.1 (0)	-0.6 (-)	+0.1 (0)	平成26年8月豪雨 8月はほぼ全国的に多雨
2015	+0.2 (0)	-0.1 (0)	-0.8 (-)	+0.4 (+)	西日本で低温・多雨・日照不足 沖縄・奄美は高温
2016	+0.4 (0)	+0.2 (0)	+0.5 (+)	+0.8 (++)	全国的に多照、西日本と沖縄・奄美で高温 北日本太平洋側は記録的な多雨
2017	0.0 (0)	+0.2 (0)	+0.4 (+)	+0.5 (+)	西日本と沖縄・奄美は高温 平成29年7月九州北部豪雨 8月は北・東日本太平洋側で天候不順
2018	+0.2 (0)	+1.3 (++)	+0.9 (++)	-0.2 (-)	平成30年7月豪雨により西日本を中心に記録的な大雨 東・西日本で記録的な高温
2019	+0.4 (0)	+0.1 (0)	-0.2 (-)	0.0 (0)	梅雨前線の北上が遅れ多くの地域で梅雨明け遅れる 西日本を中心にたびたび大雨 沖縄・奄美では多雨寡照
2020	+0.8 (+)	+0.7 (+)	+0.4 (+)	+0.6 (++)	令和2年7月豪雨 全国的に高温・多雨 国内最高気温記録（1位タイ）
2021	+1.4 (++)	+0.4 (+)	+0.1 (0)	0.0 (0)	北日本で顕著な高温・少雨・多照 東日本太平洋側と西日本で記録的な大雨

階級 --: かなり低い -: 低い 0: 平年並 +: 高い ++: かなり高い

参考データ

平年並の範囲

		平均気温 夏(6~8月)	降水量 夏(6~8月)	降水量 梅雨の時期
北日本	日本海側	平年差: -0.4 ~ +0.4	平年比: 89 ~ 108%	平年比: 87 ~ 108%
	太平洋側		平年比: 90 ~ 105%	平年比: 91 ~ 108%
東日本	日本海側	平年差: -0.2 ~ +0.2	平年比: 89 ~ 112%	平年比: 87 ~ 112%
	太平洋側		平年比: 90 ~ 105%	平年比: 92 ~ 106%
西日本	日本海側	平年差: -0.1 ~ +0.3	平年比: 92 ~ 106%	平年比: 87 ~ 110%
	太平洋側		平年比: 88 ~ 107%	平年比: 81 ~ 111%
沖縄・奄美		平年差: -0.1 ~ +0.1	平年比: 82 ~ 108%	平年比: 87 ~ 107%

梅雨の時期・・・北・東・西日本では6~7月、沖縄・奄美では5~6月

「平年並」の範囲は、同時期の過去30年間(1991-2020年)の値から統計的に求めています。30年間のデータの中で「高い(多い)」「平年並」「低い(少ない)」となるデータの数が等分になるように「平年並」の範囲を決めています。すなわち、30年間の30個のデータのうち、値が高い(多い)方から11~20番目となる10個のデータの値の範囲を、おおそ「平年並」の範囲としています。

晴れ日数と降水日数の平年値

	6月		7月		8月	
	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数	晴れ日数	降水日数
札幌	14.5日	7.5日	13.7日	7.7日	14.9日	9.5日
仙台	11.9日	10.3日	10.3日	13.3日	13.2日	10.9日
新潟	14.8日	9.5日	13.6日	12.5日	18.9日	10.0日
東京	10.5日	11.6日	12.8日	10.5日	16.3日	7.9日
名古屋	12.4日	11.6日	14.5日	12.0日	18.9日	8.5日
大阪	13.1日	11.3日	16.3日	10.0日	21.9日	7.2日
広島	13.4日	10.7日	15.4日	10.6日	19.7日	7.6日
高松	13.7日	10.5日	17.0日	9.4日	21.0日	7.0日
福岡	12.3日	11.6日	15.7日	11.0日	18.9日	9.8日
鹿児島	9.5日	15.7日	16.9日	11.6日	20.4日	10.9日
那覇	15.2日	11.3日	23.4日	9.4日	21.7日	12.3日

「晴れ日数」は「日照時間が可照時間の40%以上」の日数であり、「降水日数」は「日降水量1mm以上」の日数です。この2つは同じ日に起こることがあるため、「晴れ日数」と「降水日数」の両方に数えられる日もあります。

確率予報の解説(ここでは確率予報を次のような言葉で解説しています)

出現確率 (低い(少ない):平年並:高い(多い))	解説
高い(多い)確率が50%以上	高い(多い)見込み
(20:40:40)	平年並か高い(多い)見込み
平年並の確率が50%以上	平年並の見込み
(40:30:30) (30:40:30) (30:30:40)	ほぼ平年並の見込み
(40:40:20)	平年並か低い(少ない)見込み
低い(少ない)確率が50%以上	低い(少ない)見込み